

## 輝く女性研究者賞・活躍推進賞 応募要項

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)は、世界トップレベルの研究開発を行うネットワーク型研究所として未来共創イノベーションを先導することをそのミッションとしています。その目的を達成するための経営戦略のひとつとしてダイバーシティを推進し、その一環として女性研究者の活躍を推進する取り組みを行っています。

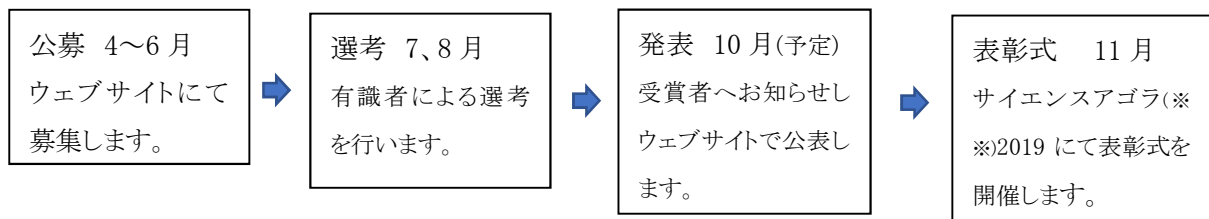
これまでも、研究開発プログラムへの女性研究者の参画を増やすために、女性の応募者を増加させるキャンペーンを実施したり、男女研究者がライフイベントの際にも研究を継続できるよう支援する「出産・子育て・介護支援制度」を実施してきました。しかし、日本における研究者に占める女性の割合は2018年3月31日現在16.2%で世界と比較すると低く、研究開発プログラム等への女性研究者の参画も少ない状況にあります。

そこで、女性研究者の活躍を推進する取り組みの一環として、持続的な社会と未来に貢献する優れた研究等を行っている女性研究者及びその活躍を推進している機関を表彰する制度を創設します。

なお、芦田基金(※)の協力により、副賞100万円の提供をいただきます。

※1994年に、デザイナーの故芦田淳氏が、青少年教育を目的として設立した基金。

### 1. 表彰までの流れ



※サイエンスアゴラは、JSTが主催する多様なステークホルダーが対話・協働する科学フォーラムです。

### 2. 表彰対象

【輝く女性研究者賞】(女性研究者)

原則40歳未満としますが、ライフイベント等による研究活動休止期間を勘案します。

また、科学技術に関連していれば研究分野は不問です。

【輝く女性研究者活躍推進賞】(機関)

女性研究者の活躍推進に貢献する、他機関のモデルとなるような取り組みを行っている機関

### 3. 応募

#### (1) 方法

応募フォームに入力し、ご応募ください。

【輝く女性研究者賞】(女性研究者) <https://form.jst.go.jp/enquetes/awmrs>

【輝く女性研究者活躍推進賞】(機関) <https://form.jst.go.jp/enquetes/aprorg>

## (2)要件

- i) 自薦・他薦とも可能です。他薦の場合は、女性研究者ご本人や候補機関のご了承を得た上でご応募いただくようお願いいたします。
- ii) 女性研究者は、原則として2019年4月1日現在で40歳未満の方を対象としますが、ライフイベント等により研究を休止した期間がある場合は、応募フォームの該当欄にその旨をご入力ください。
- iii) 機関は、企業、研究機関、学会、団体等のうち、原則として女性研究者が所属・加入している機関が対象です。

## (3)募集期間

2019年4月1日(月)～6月30日(日)

## 4. 表彰内容

### 【輝く女性研究者賞】(女性研究者)

1名、JSTから賞状、楯等を、副賞として芦田基金から賞金100万円を授与

### 【輝く女性研究者活躍推進賞】(機関)

1機関、JSTから賞状、楯等を授与

## 5. 選考

### (1)選考方法

選考は、外部の有識者からなる選考委員会により、選考の観点に基づき実施します。

### (2)選考の観点

以下の観点を踏まえて、総合的に判断します。

#### 【輝く女性研究者賞】(女性研究者)

- ・研究の実績
- ・取り組んでいる研究について、独創性・チャレンジ姿勢、将来性や課題解決への貢献
- ・研究以外の社会貢献等(人材育成・環境整備など)
- ・国際的な視野(海外での経験や海外研究機関との連携など)

#### 【輝く女性研究者活躍推進賞】(機関)

- ・他機関のモデルとなり得るか
- ・他機関との連携など、広がり
- ・取り組みの効果・成果

### (3)選考委員(敬称略、委員長を除き五十音順)

- ・鳥居 啓子(委員長) ワシントン大学 卓越教授  
ハワードヒューズ医学研究所(HHMI) 正研究員
- ・浅川 智恵子 IBMワトソン研究所 IBMフェロー
- ・阿部 玲子 オリエンタルコンサルタンツグローバル インド現地法人 取締役会長
- ・北川 宏 京都大学 大学院理学研究科 教授

- ・村山 斉 米国カリフォルニア大学バークレー校 教授  
東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構 (IPMU)  
教授・主任研究者
- ・室伏 きみ子 お茶の水女子大学 学長
- ・柳沢 正史 筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 機構長

#### (4) 利益相反

公正で透明な評価を行う観点から、JST の規定に基づき、以下の利益相反マネジメントを実施します。

##### ○選考に関わる者の利益相反マネジメントについて

公正で透明な評価を行う観点から、応募者及び応募機関等に関して、下記に示す利害関係者は選考に加わりません。

- a. 応募者及び応募機関の役員等と親族関係にある者。
- b-1. 応募者と大学、国立研究開発法人等の研究機関において同一の学科、専攻等又は同一の企業に所属している者。
- b-2. 応募機関に所属している者。
- c-1. 応募者と緊密な共同研究を行う者。(例えば、共同プロジェクトの遂行、共著研究論文の執筆、同一目的の研究メンバー、あるいは応募者の研究課題の中での共同研究者等をいい、応募者と実質的に同じ研究グループに属していると考えられる者)
- c-2. 応募機関に所属する研究者と男女共同参画等のテーマについて緊密な共同研究を行う者。
- d. 応募者と密接な師弟関係あるいは直接的な雇用関係にある者。
- e. その他 JST が利害関係者と判断した者。

#### 6. 受賞者及び受賞機関発表・表彰式、広報

##### (1) 発表

JSTダイバーシティ推進のホームページ(<https://www.jst.go.jp/diversity/>)等において、10月上旬の発表を予定しています。

##### (2) 表彰式

開催日：2019年11月16日(土)または17日(日)

会場：サイエンスアゴラ2019会場内(テレコムセンタービル、東京都江東区)

表彰式参加のための旅費等、詳細については追って受賞者及び受賞機関にご連絡します。

##### (3) 広報等

受賞者及び受賞機関に対し、表彰式におけるプレゼンテーションのほか、本表彰の広報活動、各種行事等へのご協力をお願いすることがあります。広報等における活動内容の公開については、受賞者等関係者と事前協議を行います。

## 7. スケジュール

応募期間	4月1日(月)～6月30日(日)
選考	7月上旬～8月中旬
発表	10月上旬
表彰式	11月16日(土)または17日(日)

## 8. 個人情報の取扱いについて

応募に関連して提供された個人情報については、個人情報の保護に関する法律及び関係法令を遵守し、下記各項目の目的のみに利用します。(ただし、法令等により提供を求められた場合を除きます。)

- 選考及び選考に関する事務連絡、通知等に利用します。事務局またはJSTと機密保持契約を締結した委託業者から連絡をさせていただくことがあります。
- 受賞者及び受賞機関については、応募内容のうち、基本的な情報(女性研究者:氏名・所属・略歴・主な研究等、活躍推進機関:機関名・代表者名・取り組みとその状況等)を、公表させていただきます。また、表彰式等のご案内など必要な連絡用として利用します。
- JSTが開催するセミナー、シンポジウム等の案内等の連絡に利用します。案内が不要な方は応募フォームのJSTへの連絡事項欄にその旨ご記載ください。

本表彰に関わる業務委託においては、JSTと機密保持契約を締結しております。業務委託以外での第三者への情報提供や、許可なく開示することはいたしません。

応募に関連して提供された個人情報は、下記問い合わせ先(事務局)で管理します。

## 9. その他

- ・送信された応募内容・添付書類等は返却いたしませんのでご了承ください。
- ・選考過程及び詳細に関するお問い合わせにはお答えしません。
- ・受賞にあたり反社会的勢力排除に関する誓約書を提出いただきます。

問い合わせ先(事務局)

国立研究開発法人科学技術振興機構

経営企画部 ダイバーシティ推進室 (担当:藤井、松本)

E-mail: diversity[at]jst.go.jp([at]は@に置き換えてください)

以上\_